

神奈川県横須賀市：県や他市町と連携した脱炭素三浦半島モデルの構築



事業計画の特徴

- 横須賀市が中心となって神奈川県版脱炭素モデル地域に設定されている三浦半島内の5市町（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）で脱炭素の取組を展開する。また、得られた知見をもとに県が他市町村と共有することで、その後の発注・導入の効率化やノウハウの水平展開を図る。
- 県や金融機関、商工会議所等からなる横須賀まちぐるみゼロカーボン推進チームを設置（半島内の各市町も参加）。中小事業者等の脱炭素化を促進するため、「ワンストップ窓口」、「支援策のパッケージ化」を行い、効率的にニーズにあった支援ができる体制を構築する。
- 個人・事業者向け太陽光・蓄電池の補助においては、セット導入を推進するほか、横須賀市での個人・事業者向け太陽光発電設備の補助及び事業者向け蓄電池の補助においては、市費による上乗せ協調補助を実施する。

事業計画の概要（民間） 再エネ：8,680kW

取組（個人）	規模	
太陽光発電設備の導入	横須賀市 ・ 380件 ・ 1,900kW	3市1町 ・ 240件 ・ 1,200kW
蓄電池の導入	横須賀市 ・ 380件 ・ 2,660kWh	3市1町 ・ 240件 ・ 1,680kWh
取組（事業者）	規模	
太陽光発電設備の導入	横須賀市 ・ 114件 ・ 3,420kW	3市1町 ・ 72件 ・ 2,160kW
蓄電池の導入	横須賀市 ・ 114件 ・ 3,420kWh	3市1町 ・ 72件 ・ 2,160kWh
高効率照明機器の導入	横須賀市 ・ 100件	

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
8,680kW	109,214 t-CO2	20.9億円	10.6億円	令和6年度 ～ 令和10年度

取組のイメージ

